

令和8年度第2回大学運営連絡会議事要旨

日時	令和8年6月16日（火）10時30分～11時25分
場所	Web会議
出席者	学長、大島理事、鯉川理事、青木理事、野口理事、田中理事・事務局長、大川内監事、坂本副学長、羽石経済学部長、副島医学部長、今井教育学部長、中村芸術地域デザイン学部長、佐藤理工学部長、花田附属図書館長、中村教育開発推進センター長
欠席者	西郡副学長、鈴木農学部長、後藤生物資源教育研究センター長
陪席者	徳田学長補佐、田中学長補佐、山田学長補佐、山津学長補佐、辻田学長補佐

○議事に先立ち、学長から、令和8年度第1回大学運営連絡会議事要旨について確認依頼後、修正意見はなかったため、確定した旨報告があった。

【 報告・連絡事項 】

(1) 令和8年度ミッション実現戦略分（学内取組）の予算配分について

前田財務部長から、「第4期中期目標期間におけるミッション実現戦略分の配分方針」に基づき、学内取組等のうち社会的インパクト創出が期待できる事項8件について評価を行い、総額1億円とし、前年度配分額から一律20%減として配分する旨、また、学内体制整備費（社会的インパクト創出に関する支援体制強化）については、前年度から1千万円減の2千万円を確保している旨の説明があった。さらに、令和8年度から第5期に向けた支援を新設しており、当該削減分を同支援に投入する予定である旨の説明があった。

(2) 令和7年度監事監査報告に対する改善等措置について

牟田口総務課長から、本件に関する監事からの指摘事項に対する改善状況等について、各担当部署において、学長、担当理事等と協議いただいた旨の報告があった。また、本件は役員会で審議した後、学長から監事へ回答する旨の報告があった。

(3) 大学間学術交流協定終結について：パシフィック大学（アメリカ）

坂本国際交流推進センター長から、先方からの要望により、パシフィック大学との大学間学術交流協定を終結する旨の報告があった。

(4) 留学生の受入れに際して必要な対応に関する方針について

坂本副学長から、留学生の所在不明事案の発生及び文部科学省通知を踏まえ、在籍管理の厳格化と受入れ体制見直しの必要性について説明が

あった。併せて、留学生区分ごとの受入れ責任の明確化、月次での所在確認や未確認者への対応を含む在籍管理体制の強化、システム導入による効率化、並びに特別聴講学生（SPACE プログラム等）を中心とした受入れ強化及び教員・部局への支援・インセンティブ付与等の方針について説明があった。

(5) 令和7年度就職等状況について（令和8年5月1日現在）

角田キャリア支援部門長から、令和7年度卒業・修了生就職等状況の就職率及び前年度との比較等の報告があった。

(6) IRデータに基づく学内活動モニタリング

田中IR室長から、指摘事項1件として以下の報告等があった。

- ・大学院研究指導実施報告書の入力率について、前学期分については5月末を入力期限としているが、いずれの研究科においても100%に達していない状況である。

また、気づき事項3件として以下の報告等があった。

- ・令和7年度派遣留学生数について、合計236名となっており、コロナ禍前と同水準まで回復している状況である。

- ・令和8年度前学期の休校及び代替措置報告一覧について、教養教育の5月分の休校数は28件と集中している状況であり、特定の教員によるものではなく、複数の教員によるものである状況となっている。

- ・令和7年度の光熱水等使用量実績について、全体の使用量は前年度と比較して1.9%減少しており、その主な要因として、使用割合の大きい電気・ガスにおいて医学部及び附属病院の使用量が大きく減少したことが影響している。

(7) その他

特になし

以上